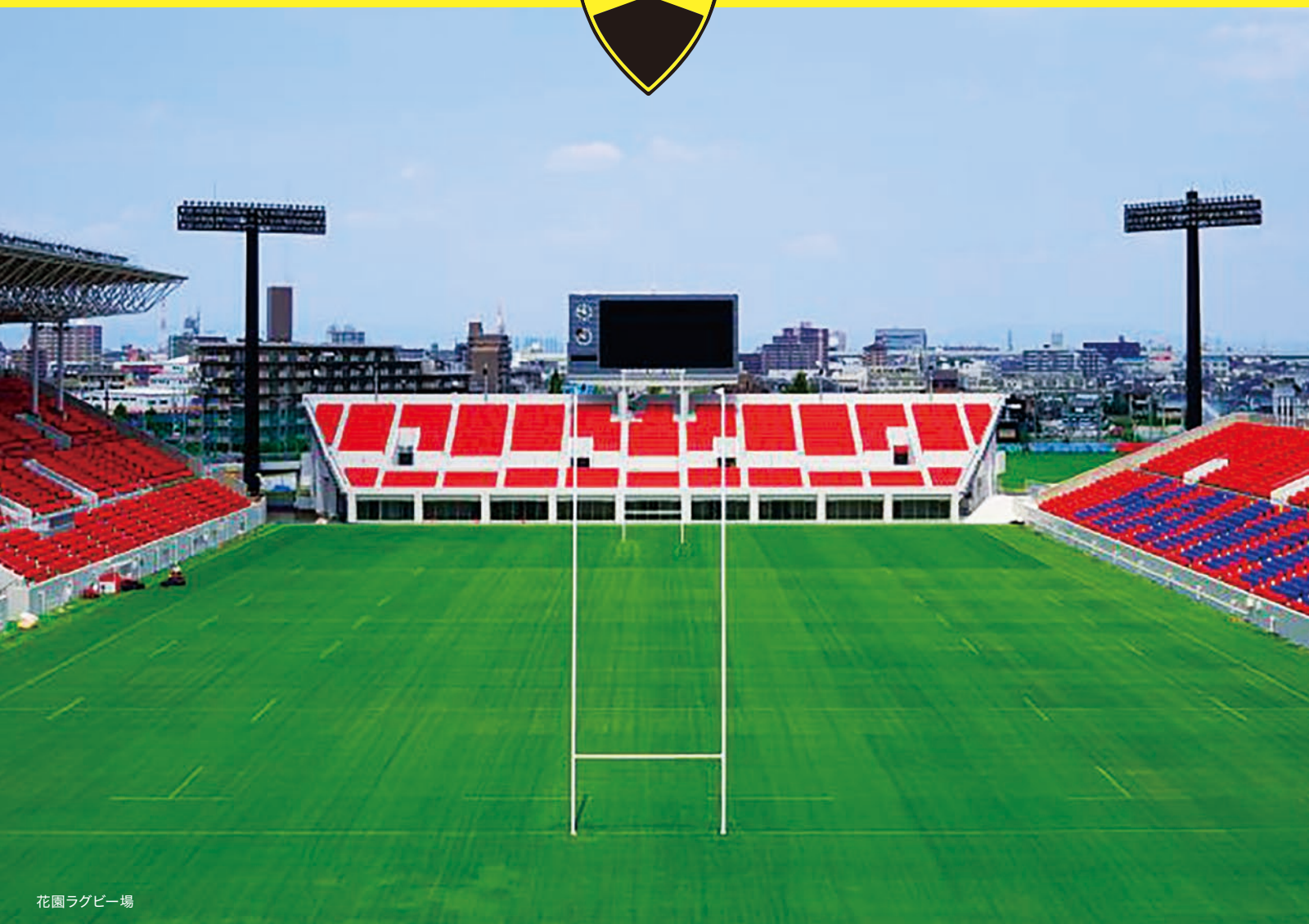


AGR NEWS



2021
SPECIAL
EDITION

Vol. **43**



花園ラグビー場

誇り高く明日へ。

“With Pride, Beyond Yourself”

FUN TO RUGBYを始めよう。

OB会新体制発足記念対談

(公財)日本ラグビーフットボール協会 専務理事 岩渕 健輔氏 (42期)

青山学院高中部ラグビー部OB会 会長 小村 峰之氏 (33期)

KENSUKE
IWABUCHI

TAKAYUKI
KOMURA



対談
トピック

自律の精神を学び、継承すること。
それが青学ラグビーの強さになる。

二度のオリンピックを経て感じた、
チーム強化において重要なこと。

対戦相手の強さや練習量を知ること、それが自分たちの力量を測る目安になる。

恥じるプレーや生活態度が
あってはならない、
青学ラグビーの伝統と
真髓がそこにある。



言い訳はしない、
聞かない、愚痴らない。
自分たちで考え、
できることを積み上げよう。

女子選手が育つ要素は多様性と調和、青学ラグビーにはその環境が整っている。

卒業したらこれっきりなんてもったいない。
現役世代とのつながりが青学を強くする。

対談記事(全4回)はこちらでお読みいただけます。

<https://agr-h-j.jp/story>

- Vol.01 オリンピックを終えて。
- Vol.02 いま足りないもの。
- Vol.03 自律は武器になる。
- Vol.04 Fun to Rugbyを始めよう。



青学はラグビーの楽しさを、勝つ喜びに高めてくれた。

まもなく訪れる「創部100周年」。さらなるレガシー構築に向けてOB会は、すでに動き始めている。

チームカラーの構築とチームの強化だけでなく、ラグビーの楽しさ、面白さの理解を深めるためにOB会はどうあるべきか。

新体制が提唱する「青学らしさ」とはなにか。その方向性を岩渕健輔氏とAGR OB会新会長の小村峰之氏が検証する。

会長就任の挨拶

創部100年、
魂をつなごう。

会長 小村 峰之【旧姓 郷内】(33期)

このたび青山学院高中部ラグビー部OB会の会長を拝命致しました、小村峰之(旧姓 郷内)です。まず初めに生徒たちの部活動に対して、献身的にご尽力いただいているOBの皆様、心から感謝申し上げます。ありがとうございます。

さて、昨年来から続くコロナ禍において、高中ラグビー部は思うような活動や成果を残すことができないながらも、全員が前を向き、明るい未来を信じて練習に励んでいます。その姿を見て私が念ずることはただひとつ。「ラグビーも、人となりも、青学らしく」です。キリスト教の教えを主とする青山学院建学の精神に基づいて、知性・教養・社会性をともに育み、思いやりに溢れる「人間力」を形成すること。それが青山学院ラグビー部の到達点であり、その精神の継承こそが我々OBの役割でもあるのです。

勝つことはラグビーにおいても、人生においても、大切なことです。しかし花園出場をめざすあまり、勝てばいい、強ければいいでは、青学らしくありません。小柄であっても正々堂々と向き合う。体格で勝負するのではなく、洗練されたラグビーセンスと技術、そしてジェントルでフェアな精神でスマートにノーサイドを迎えること。それが青学ラグビーであり、紳士道を身につける始まりでもあると考えています。

高中部ラグビー部を経て大学卒業後に社会へと羽ばたいていくときに、よきアドバイザーとして、また青山ファミリーの一員として、部員の皆様の身近な存在になるべく、OB会は尽力してまいります。そして令和の時代にふさわしく、ボーダーレスでフレンドリーなOB会にしたい。その願いとともにまもなく訪れる創部100周年に向け、諸先輩方から継承した魂を正しくつなぐため、これからも努力してまいります。OBの皆様には、尚一層のご支援ご協力をよろしくお願い致します。

かけがえのない財産となった10年 「感謝」

会長退任の挨拶

田中 浩明(27期)

日頃より高中部ラグビー部OB会の活動にご協力をいただき、深く御礼申し上げます。今年度より高中部ラグビー部OB会・会長に小村(郷内)峰之さん(33期)、副会長に鈴木成明さん(33期)、総括幹事に佐藤英成さん(33期)に就任していただくこととなりました。

小村新会長を中心とした新執行部の方々は、高等部3年時に花園予選の東京都決勝まで勝ち進み、国学院久我山高高校に惜敗し悲願の花園出場を逃した代です。小村新会長は中・高等部時代に快足ウィングとして活躍され、本校に対する思いやラグビーに対する情熱は人一倍熱く、必ずやOB会活動を盛り上げてくれることでしょう。

振り返ると、2011年に当時の川合友文前会長より大役を仰せつかり、執行部の方々と共に約10年に渡る活動は、学院関係者、先生方に見守られる中、ラグビー部を愛する多くの諸先輩方や後輩の方々にサポートをいただき、活動することができました。感謝の気持ちで一杯です。

就任間もないころ、初来日の英国ラグビー校との試合、現役部員が勝利を目指して泥だらけになりながら練習し、黒ジャージを着て試合に望む逞しい姿、夏には菅平に多くのOB・OGの方々が集まり、学生時代に戻った時のように目を輝かせ、額に汗をにじませボールを追う姿、高等部ラグビーを支えていただいた鈴木正一先生や岡本真一路元監督やOBの方との悲しいお別れなど、数々の思い出があります。大勢の方々と巡り合うことができ、ひとつひとつの経験が私にとって大きくかけがえのない財産となりました。

小村会長を中心とした新しいOB会に生まれ変わりますが、会員の皆さまにはOB会が益々発展するようお支えいただきますよう、お願い申し上げます。

コロナ禍で安心な日常に戻るまではもうしばらくかかりそうですが、お身体に気をつけ健やかにお過ごしください。



熱いラグビー魂の炎を 再燃させよう！

名誉顧問 越塩 邦弘(11期)

田中浩明前会長、10年間本当にお疲れさまでした。あなたが長年にわたり高中部ラグビー部とOB会へ献身的に貢献されていた姿を忘れられません。新役員の人選並びに新役員会発足へのご尽力にも重ねて感謝いたします。

新役員並びにグラウンドでの指導者の皆さん、大役をご快諾いただきありがとうございます。しかし、君たちは高中部ラグビーへの恩返しという義務を果たすために就任したと理解しています。重責ではありますが、存分に力を発揮してください。今後の改革と強化を、大いに期待しています。

OB会員の皆さん、高中部ラグビー部の部活動は決して順調な状況とは言えません。それは近年の戦績にも表れています。現役の指導強化は役員やコーチ陣に任せ、我々会員が出来ることは物心両面での支援です。会員の皆さんの今日までの多大な援助には本当に感謝しておりますが、OB会が掲げる高尚なるビジョンと目標を達成するには、下世話な言い方ですが先立つ物がかなり不足しているのが現実です。是非ともグラウンドでの熱い応援も当然ながら、金銭面でのご支援をあわせてお願いいたします。

皆の力をあわせて高中部の熱いラグビー魂の炎を再燃させましょう！



部員たちの決して諦めない 頑張りによって作られたチームへ

高等部監督退任の挨拶

野口 功一(34期)

当初は後任が決まるまで暫定的に、との事で引き受けた監督ですが、いつの間にか丸4年の歳月が経っていました。その間、新しい時代に合わせたラグビー部の仕組みを作るべく、他校との積極的な交流、試合中心の合宿、トレーナー・チームドクター・メンタルコーチなどの導入、強豪校との指導者交流など様々な取り組みを行ってきました。一方で試合ができるギリギリの部員数に悩まされたり、最後はコロナ禍によって思うような活動ができなくなるなど、障害も多々ありました。

しかし、何より部員たちの決して諦めない頑張りによって、毎年、短期間でチームを作り上げることができました。また、多くの制限があったクラブ活動において、藤井先生をはじめとする顧問の先生方の「部員に少しでも多くラグビーをやらせてあげたい」というお気持ちには本当に感謝しております。若いコーチ陣やたくさんのOB・OGの協力にもどれだけ助けられたかわかりません。これから依田新監督による現場スタッフと小村新会長とOB会新体制による新しい時代が始まりますが、きっと部員に多くの実りあるラグビー生活を与えてくれると信じています。

本当に4年間、ありがとうございました。



笑顔で楽しく、 選手のいいところを伸ばす

高等部監督就任の挨拶

依田 賢人(51期)

2021年度より、高等部ラグビー部の監督を務めさせていただきます。依田賢人です。

これまで長く監督を務められた野口功一さんより、今年5月に監督を引き継がせていただきました。野口前監督のこれまでのご指導・ご尽力に心より感謝いたします。

私は、初等部から大学までAGRで育ち、卒業後は東芝ブレイブルーパス(当時)でプレーをさせていただきました。

今回、これまで自分が育てていただいた青山学院とAGRへの恩返しの気持ちで、母校のグラウンドに戻ってくることを決意いたしました。指導方針は「笑顔で楽しく、選手のいいところを伸ばす」です。ラグビー部での活動を通じて、一人でも多くの学生がラグビーを大好きになって、生涯の仲間を作ってくれたら嬉しく思います。引き続き、高等部ラグビー部へのご声援をよろしくお願いいたします。



東芝ブレイブルーパス現役時代



OB会新執行部

会 長：小村 峰之【旧姓：郷内】(学校対応、渉外全般・33期)

副 会 長：鈴木 成明(ALL青山、強化・33期)

総括幹事：佐藤 英成(内外窓口、事務局・33期) 副 幹 事：井口 千晶(35期)

▼ALL 青山委員会 委 員 長：杉山 公信(35期) 副委員長：沖永 リサ(42期)

▼総 務 委 員 会 委 員 長：総田 茂昭(32期)

▼交 流 委 員 会 委 員 長：田中 次織(33期) 副委員長：平野 剛志(33期)

▼広 報 委 員 会 委 員 長：池田 祐二(41期) 副委員長：瀬戸 亜美(41期)

▼名誉顧問：越塩 邦弘(11期) 齊藤 和夫(14期)

川合 友文(15期) 田中 浩明(27期)

▼相 談 役：宿南 弘司(29期) 酒井 直人(30期) 市瀬 和敏(30期)



OB会新執行部キックオフミーティング



コロナ渦でも生徒たちは成長し、継承される黒黄色ジャージ。

高等部顧問 藤井 徹也先生

OB会の皆さま、こんにちは。平素より物心双方に渡るご支援を賜り、心より感謝申し上げます。

私もこの顧問のお仕事をさせていただいて、早や20年が過ぎました。その間、高等部ラグビー部の活動を通して、立派に成長していく生徒たちの姿を数多く目にしてきました。部員数減に悩まされる近年の状況、文科省の部活改革、さらにコロナウイルスの感染拡大が加わり、皆さまの学生時代とは多くの点で、私たちは変化を強いられました。

しかし、私たちの後ろにはラグビーというスポーツが培ってきた文化、高等部ラグビー部創設者から歴代の部員たち、関係する方々が脈々と築き、後輩に託してきた夢や希望があります。様々な変化の中に柔軟に対応しながら、黒と黄色のジャージが変わらず今に受け継がれていることは喜ばしいことです。このコロナ禍が過ぎ去り、皆さまがもう一度グラウンドに足を運んでいただいた時、きっとあの時と同じジャージを着て、元気にプレーを繰り広げる、プライドのある後輩たちに出会っていただけるものと信じております。

混沌とした世の中ですが、大局をしっかりと見据えて、自らの責任を果たす事の出来る若者が、高等部ラグビー部からこれからも巣立ち続け、皆さまの仲間に入れていただけるよう、見守っていきたく存じます。引き続き、ご声援を賜りますようお願い申し上げます。

【運営メンバー・部員】

- ◆監督:依田 賢人(51期)
- ◆顧問:藤井 徹也先生、中久木 眞治先生、河野 駿也先生
- ◆コーチ:永井 健太郎(51期)、比企 直久(51期)
- メディカル兼フィジカルコーチ:宮田 雄亮(尾山台整形外科)
- チームドクター:有田 正典(三宿通り整形外科)
- 3年生:部員4名/マネージャー3名
- 2年生:部員11名/マネージャー1名
- 1年生:部員7名/マネージャー2名



2021年春シーズン戦績

■2021(R3)年度 東京都高校秋季大会(※無観客試合)

結果:1回戦敗退

青山学院 3 - 51 早稲田高等学院

■2021年(R3)年度 第8回高等学校7人制ラグビーフットボール大会東京都予選(※無観客試合)

〈一次リーグ〉

結果:1位(二次リーグ進出)

青山学院 24 - 12 専修大学付属高校

〈二次リーグ〉

結果:3位(二次リーグ敗退)

青山学院 5 - 28 東京高校

2021年秋シーズン戦績

〈高等部〉

■第101回 全国高校ラグビーフットボール大会

2021(R3)年度 全国高校総合体育大会 東京都予選(第1地区) ※日時・グラウンドは非公開の無観客

▶ 1回戦 青山学院 19 - 29 明学東村山

■秋の四校戦(未定)

高中部グラウンドが全面人工芝に

天候に左右されず、怪我の可能性を軽減。
ラグビーに適進できる環境になりました。



岩渕氏から応援メッセージ



岩渕健輔氏(42期)から現役世代に向けたビデオレターをいただきました。



ラグビーで学ぶ、「品位・情熱・結束・規律・尊重」。

中等部顧問 兼 監督 竹内 隆太郎先生

青山学院中等部ラグビー部は東京都春季大会決勝トーナメント一回戦で敗れ、目標としてきた関東大会に出場することができませんでした。しかし、小さな変化が起きています。感謝の気持ちをもってラグビーに取り組む者が増えています。感謝の気持ちを表すことが上手になっています。苦しい状況にも、罵り合うことなく、励まし合う姿が目立つようになりました。この小さな変化が大きな成長につながるよう、保護者・卒業生・スタッフで団結し、子どもたちの活動を支えていきたいと思ひます。

今後も引き続き応援をお願いします。

【新たな仲間が加わりました】

コロナ禍、先の見えぬ状況に不安と不満が襲いかかってきます。未来を信じて、困難に立ち向かいたいと思ひます。

「東京都秋季大会で春の8強を倒す! 東京都ベスト4となり東日本大会出場権を勝ち取る!」新たな仲間を加え、新たな目標へ向かって進みます。

中等部ラグビー部の2021年度Tシャツが完成しました。背中に、「現在の苦しみは、将来わたしたちに現わされるはずの栄光に比べると、取るに足らないとわたしは思ひます。」(ローマの信徒への手紙8章18節)という聖書の言葉をデザインしました。「ラグビーでの出会いを大切にしてほしい」「ラグビーから『品位・情熱・結束・規律・尊重』を学んでほしい」、そして「未来を信じて、いまを一所懸命生きてほしい」という願ひを込めました。

【運営メンバー・部員】

- ◆顧問:竹内 隆太郎先生(41期)、井上 有史先生
- ◆コーチ:三本 靖広(27期)、綿井 浩介(H元年大学卒)、尾身 嘉信(42期)、和泉 健太郎(H13年大学卒)
- 3年生:部員13名
- 2年生:部員8名
- 1年生:部員8名

2021年春シーズン戦績

■2021年(R3)年度 東京都中学ラグビーフットボール春季大会(※無観客試合)

I部Eブロック予選

結果:決勝トーナメント進出

青山学院 73 - 10 鶴青多連合

青山学院 59 - 17 明八桐朋連合

I部決勝トーナメント

結果:1回戦敗退

青山学院 5 - 28 東京高校合

青山学院 19 - 38 帝京朝鮮連合

2021年秋シーズン戦績

〈中等部〉

■東京都秋季大会 ※無観客試合での開催

▶ 9/12(日) 青山学院 59 - 12 城北

▶ 9/19(日) 青山学院 68 - 15 桐朋・明八

▶ 9/23(木) 青山学院 50 - 7 府中二

決勝トーナメント

▶ 9/26(日) 青山学院 7 - 38 帝京朝鮮連合





2018年 明中八王子戦



2012年 成蹊戦



2012年 早稲田実業戦

創部80年から90年 10年の軌跡



2013年 慶応戦



2011年 英国ラグビー校親善試合



2011年 英国ラグビー校親善試合



第64回大会(1984年)



9期菅平合宿



第73回大会(1993年)

東京大会決勝に過去6回進出



第73回大会(1993年)



第73回大会(1993年)

決勝進出年度

1950年	0-24 千歳
1960年/9期	3-11 城北
1980年/29期(岡本監督)	3-30 保善
1984年/33期(岡本監督)	3-22 国学院久我山
1993年/42期(浦上監督)	13-23 国学院久我山
2002年/51期(宮川監督)	0-71 国学院久我山



第82回大会(2002年)



第82回大会(2002年)

ALL青山ラグビーの潤滑油を目指して

ALL青山委員会 委員長 杉山 公信(35期)

連 携

ALL青山として初等部～大学までの連携を図り、
各年代ごとの 相互交流を基に、
青学ラグビーらしさを魅せるとともに
青学スピリットの継承を具現化する。

主役はあくまで選手達であり、現場の先生方・監督・コーチ陣です。その主役の皆さんが、青山学院の強みである初等部コアラーズからラグビーに親しめる、素晴らしい環境。同じグラウンドで練習出来る、中等部・高等部の状況。対抗戦Aグループで奮闘している大学。現在までも【オール青山連絡会】を通じて様々な協力が進められており、これを基盤とするALL青山ラグビーの発展を目指す体制は、先生方・諸先輩のご努力のお陰ですでに整っています。

その上で更に「ALL青山ラグビーの潤滑油」として、少しでも我がラグビー部に寄与できるように尽力してまいります。

また、大学ラグビー部は2024年に創部100周年の節目を迎えます。

今年度から新体制となり、清水監督・村松HCのもとで、現在のラグビー部を取り巻く厳しい状況の中においても

“大学日本一”を目指して練習を積んでおります。

OB・OG諸氏におかれましては、初等部から大学までALL青山ラグビーへの応援・ご支援の程、合わせてお願い申し上げます。

2021年シーズン

〈大学〉

■関東大学対抗戦Aグループ

- ▶ 9/12(日) 青山学院 3 - 52 明治
- ▶ 9/25(土) 青山学院 0 - 52 帝京
- ▶ 10/10(日) 青山学院 14 - 40 慶応



大学ラグビー部監督
清水 孝哉(1994年大学卒)



大学ラグビー部 HC
村松 歩(1995年大学卒)



強 化

青学ラグビーらしさを備えた戦略
及び戦術の支援を通じて、
選手が目指す目標に導けるように
監督・コーチへの支援を充実させる。

高中部ラグビー部創部100周年(2030年)に向けて、全国大会を志す生徒を育てると共に、その志を導けるOB会の体制を構築していきます。ただし、これまで全国大会への出場経験のない私達の歴史では、簡単なことではありません。

そのためには、選手・監督・コーチだけでなく、900人以上いる私達OB・OGが皆で本気で取り組む必要があります。また、皆様の知恵・経験・人脈をフルに活用していく必要があります。まずは歴代の監督・コーチの皆様と共にこの体制の構築を進めていきたいと考えておりますが、その実現にはもっと多くの方の協力が必要です。是非、皆様のご協力を宜しくお願いいたします。

2021年シーズン

〈初等部コアラーズ〉

■菅平夏合宿 中止

■金足西少年ラグビースクールとの交換試合 中止

■慶應幼稚舎交流試合 2022年2月予定



初等部 コアラーズ
紀先生、喜多先生、小野先生、西村先生、真下先生



世代を越えたOB同士の交流で、現役のサポートに繋げよう

交流委員会 委員長 田中 次織(33期)

OB会の役割は現役部員がラグビーに打ち込める環境をサポートすることですが、その前に、まずはOB同士の交流が幅広く行われ、ラグビー部の現状に感心を持つことが、現役への貢献に繋がると考えます。そのためには、HPやSNSなどでの情報の提供や交換などを通じた交流促進はもちろん、コロナ禍が落ち着きましたら、年度幹事の皆様と協力しながら、懇親会などの集まりを企画し、世

代を越えた交流の場を増やしていきます。OB会が一つの組織としてまとまり、その輪が広がっていくことで、結果として現役をサポートできる環境になっていくことを目指していきます。

皆さま、今一度、ラグビー部OB会の活動を自分事と改め、是非一緒に盛り上げていきませんか！

お待ちしております、皆様のご支援

総務委員会 委員長 総田 茂昭(32期)

昨年・今年と残念ながら夏合宿が中止となり、皆さまと旧交を温める機会を逸してしまったため、寄付につきましては例年の3割程度となってしまっています。

昨年より続く新型コロナウイルス禍にあり、現役は様々な制約のある中ですが、依田新監督を迎え、新たな目標を設定し強化に邁進しています。OB会としては更なる支援をしてきたいところですが、十分な資金がないため現役へのサポートもままならない状況となっています。現在学生への支援は、学校からの部費及びOB会からの寄付の他、学生の父母会からのご寄付で成り立っております。近年は父母会からのサポートに大きく頼る状況となっております。ご寄付が増えれば、ご父兄の負担の軽減だけでなく、練習道具の充実や遠征等の実現も可能となりますので、是非、今回の「AGR News」を通じて、OB会の財政面の窮状についてご理解いただき、以下口座へのご寄付を何卒、よろしくお願い申し上げます。

尚、現在の銀行振り込みとクレジットカード決済の他に、今後はLINEからも寄付が出来るよう準備をしております。

また、昨年コロナ禍で経営が困難になっている菅平のホテルへのお見舞金、ネーミングライツをOB会より贈呈いたしましたことをご報告いたします。



コロナ禍で大きな打撃を受けたラグビーの聖地・菅平高原支援の一環として、“WE ARE スガダイラース PROJECT”というクラウドファンディングが実施され、OB会として、菅平のグラウンドへ命名権「2021年1年間の菅平のグラウンドのネーミングライツ」への寄付を実施しました。(コロナ禍により2022年まで延長)

■2019年度 寄付総額:717,198円(寄付者数38名)
■2020年度 寄付総額:202,747円(寄付者数14名)
■贈呈実績(2020年度)

【高中部共通】
ネーミングライツ(スガダイラース) 300,000円

【高等部】
高等部卒業記念ミニジャージ(17人分) 93,192円
お見舞金(菅平プラザホテル) 50,000円

【中等部】
中等部ジャージ(22名分) 250,800円
お見舞金(菅平国際ホテルベルナニ) 50,000円

■今後の支援項目
夏合宿費(大学生交通費・宿泊費)/遠征費補助/ジャージ・ボール・他練習ツール/卒業記念/捕食・テーピング・ボカリ等補助



中等部生へ田中前会長よりジャージ授与



卒業記念ミニジャージ

※今回AGRニュース同封のマスクは、樋口賢二さん(33期)からの寄付です。尚、近いうちに「マスク販売」を予定しており、売上金の一部で現役を支援する寄付にしたいと考えております。

会計報告詳しくは https://agr-h-j.jp/accounting_report

●寄付について【口座振込・オンライン寄付(クレジットカード決済)】

◎ みずほ銀行 銀座中央支店(店番号:125) 普通 1292627 青山学院高中部ラグビー部OB会

◎ オンライン寄付サイト:<https://agr-h-j.jp/donate>



みんなで楽しくつながろう！

青山学院高中部ラグビー部OB会



LINE公式アカウント 開設のお知らせ

青山学院高中部ラグビー部OB会の公式アカウントを開設いたしました。

試合結果などの最新情報をお知らせするほか、過去の試合映像や懐かしい写真をご覧いただけます。また、交流委員会からの懇親会企画など、コロナが落ち着きましたらご案内させていただきます。

現役へのご支援もこちらのLINE公式アカウントをご利用いただけますので、よろしくお願いいたします。

OB・OG、現役の学生、保護者や関係者の皆様へ、いい情報を発信いたしますので、是非、ご登録ください！

<https://www.aogaku-rugby.com>



高中部グラウンド(人工芝)

編集後記

OB会の新体制に伴い、久しぶりのお届けとなりました。いかがでしたでしょうか。つたない部分もありますが、楽しんで読んで頂けたら幸いです。AGRのこれからの未来を見据えて、いくつかの会合が、コロナ禍らしくオンラインを交えて開催されました。コメントや取材にご協力いただいた皆様、本当にありがとうございました。OB・OG読者のみなさまからの感想もお寄せいただけたらと思います。これからもAGRニュースがみなさまにとって身近であるように精進してまいります。

広報委員長：池田 祐二(41期) 広報副委員長：瀬戸 亜美(41期)
広報委員：児島 創史(41期) 鈴木 玄洋(41期) 山田 純平(42期)

AGR NEWS